



# 読書のススメ



## 『あした、弁当を作る。』

ひこ・田中著/講談社/T9 1 3ヒ

中一のタツキは、ささいな事がきっかけで、母親からの過度な愛情を不快に思っている自分に気づく。自立するためにまずは弁当作りから始めるが、息子の世話が生きがいの母親と時代遅れな考えの父親に猛反対されてしまう。一風変わった反抗期と複雑な自立心を描く成長物語。



## 『バスを降りたら』

眞島 めいり著/PHP研究所/T9 1 3マ

附属中一年の奈鶴は、バスで席を譲る男子学生を見てから、彼のことが気になっていた。一方、その男子学生・律は第一志望の附属中に落ち、居心地の悪い学校生活にうんざりしていた。附属中の制服を着た奈鶴をバスで見かける度に、毎日嫌な気分になっていたのだが…。



## 『カムイの大地 北海道と松浦武四郎』

泉田 もと作/岩崎書店/9 1 3イ

江戸時代、蝦夷地と呼ばれ、野蛮な民族がいる未開の地とされていた北海道。本島の人間はアイヌ民族への差別と搾取を繰り返し、アイヌの人々から怒りを買っていた。そんな中、アイヌ民族と親交を深めた松浦武四郎という男がいた。北の大地に魅了された男の熱き生涯に迫る。



## 『パフィン島の灯台守』

マイケル・モーパーゴ作/評論社/9 3 3モ

無口で心優しい灯台守のベンは、大嵐の夜、座礁した船の乗客を救助する。乗客の一人だった少年・アランは、島を去る時にベンから貰った絵を心の支えにしながら、いつか再会することを夢見ていた。成長したアランは、長年の夢を叶えるため、ベンの住むパフィン島へ向かう。



## 『パップという名の犬』

ジル・ルイス著/評論社/9 3 3ル

子犬のパップは吠え癖があったために、大好きな少年と引き離され捨てられてしまう。知らない場所に残されたパップは、フレンチという犬に助けられ、捨て犬たちの仲間として生きることになった。そこで生き延びるためのルールを教えられ、野良犬生活がスタートする。



## 『リンボウ先生の』

### 『なるほど古典はおもしろい!』

林 望著/理論社/T9 1 0ハ

文法や古語が難しく、退屈だと思いがちな古典ですが、物語の背景を知ると一気に面白くなります。この本では、枕草子や源氏物語などの名作から面白い部分を抜粋し、楽しく読むためのポイントを紹介しています。古典との距離が縮まる1冊です。

